



GOOD DESIGN AWARD 2018

「パークコート青山 ザ タワー」「パークコート赤坂檜町 ザ タワー」が受賞
～「グッドデザイン賞」19年連続受賞※～

三井不動産レジデンシャル株式会社(本社:中央区銀座、代表取締役社長:藤林清隆)は、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2018年度グッドデザイン賞」を以下2プロジェクトで受賞しましたのでお知らせいたします。今般の受賞により19年連続の受賞※となります。

なお、受賞プロジェクトについては2018年10月31日より東京ミッドタウンで開催される受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2018」で展示の予定です。

■受賞プロジェクト一覧



<「パークコート青山 ザ タワー」外観写真>

1.「パークコート青山 ザ タワー」

曲線によるしなやかさと美しさにより、人のくらしを包みこむすまいを創造。

受賞部門：集合住宅

事業者：三井不動産レジデンシャル株式会社、
Iconique 特定目的会社

所在地：東京都港区南青山二丁目



<「パークコート赤坂檜町 ザ タワー」外観写真>

2.「パークコート赤坂檜町 ザ タワー」

計画地に群生していた檜をモチーフに、平面的・立体的に「自然」を体現する超高層タワーを実現。

受賞部門：集合住宅

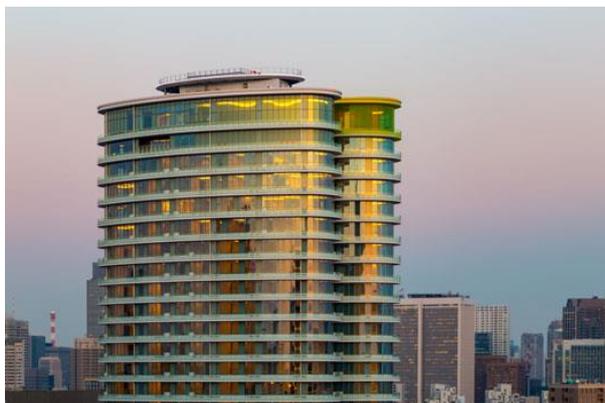
事業者：赤坂九丁目北地区市街地再開発組合
所在地：東京都港区赤坂九丁目

※2000年に分譲マンション初のグッドデザイン賞を受賞した「麻布霞町パーク・マンション」「センチュリーパークタワー」(売主：三井不動産株式会社)より、19連続の受賞です。

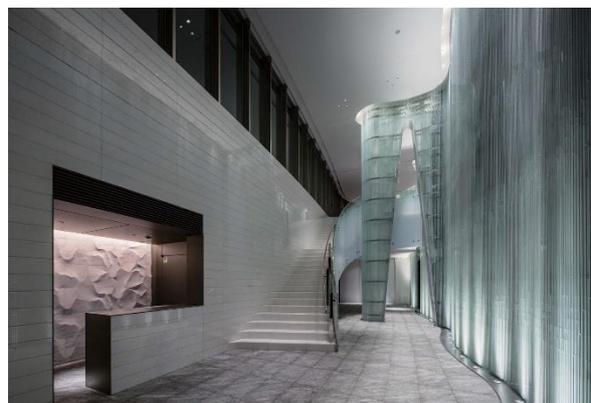
■添付資料 各受賞プロジェクト概要

1. 「パークコート青山 ザ タワー」

計画地は、南に青山霊園や六本木の高層ビル群、北には明治神宮や赤坂御用地等、全方位にわたり魅力的な眺望が望める環境に位置しています。これらの眺望を最大限に活かすとともに、南青山の街並みの象徴となるすまいを創造しました。「AOYAMA FLARE」をコンセプトに、フルハイトサッシで多角形の連続曲面を構成する外観や、連続する約 6,300 枚のガラスフィンでドレープのようにゆらめくアートウォール等、今までの常識を超えるデザイナーやアーティストの感性を設計者・施工者の高度な技術によって細部まで再現。曲線によるしなやかさと美しさにより、人のくらしを包みこむすまいを創造し、デザインがすまいの価値となることを目指しました。



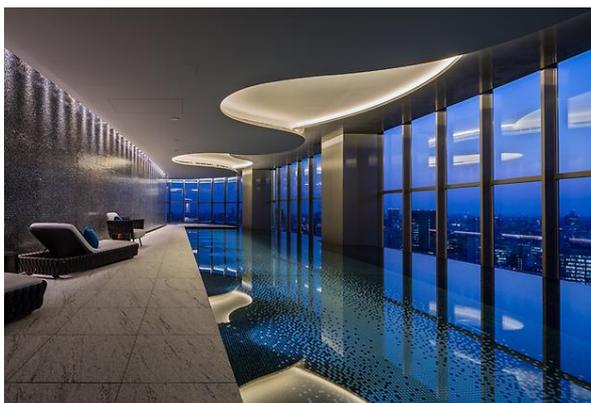
＜天候や時間により様々な表情を見せる外観＞



＜約 6,300 枚のガラスフィンからなるアートウォール＞



＜アール加工した石で構成するエントランス＞



＜都心の眺望を取り込むインフィニティプール＞

【事業概要】

事業者：三井不動産レジデンシャル株式会社、Iconique 特定目的会社

設計者：株式会社大林組一級建築士事務所

施工者：株式会社大林組

デザイナー：ブルーノ・モワナー、エマニュエル・バロワ、株式会社大林組

所在地：東京都港区南青山二丁目

敷地面積：3,910.57 m²

総戸数：160 戸

構造規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上 26 階地下 1 階

竣工年月：2018 年 3 月

【審査員評価コメント】

美しいカーブを外観にもつタワー型マンション。都市のシンボルとして、カーブを描く外観形状が、様々な時間や方角から異なる顔をみせており、都市の風景と有機的に呼応している。エントランスに作られたドレープのようなガラスのデザインワークも秀逸である。

2. 「パークコート赤坂檜町 ザ タワー」

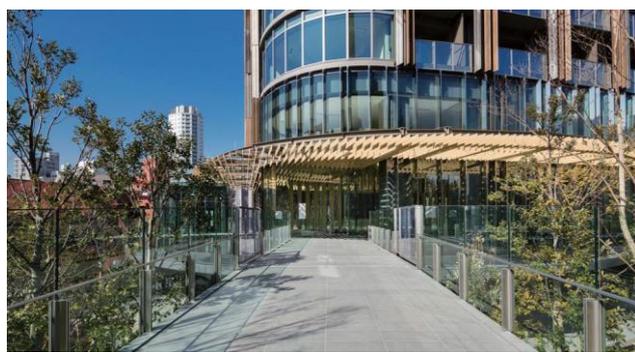
計画地にかつて群生していた檜をモチーフに「HINOKI TOWER」をデザインコンセプトに掲げています。超高層タワーを1本の大樹に見立て、外観から共用部までを一貫してデザインしました。タワー外装は木目柄のフィンを採用し「樹皮」を、タワー頂部にはグリーンキャノピーを設け「樹冠」を表現。ラウンジは、木調ルーバーの天井により「幹」を表現しています。また、周囲と分断されていた計画地を棚田状の緩やかな斜面に変え、緑地帯として再生することで、傾斜地を活かした緑の景観と空地率約70%の広大な緑地を創出しています。檜町の記憶を継承し、立体的・平面的に一貫して「自然」を体現する超高層タワーを実現しました。



< 檜の「大樹」を表現した外観 >



< 木調ルーバーで「幹」を表現したラウンジ >



< 周囲とつながる「枝」を表現したグリーンブリッジ >

【事業概要】

事業者：赤坂九丁目北地区市街地再開発組合

参加組合員：三井不動産レジデンシャル株式会社

設計者：株式会社日建設計

施工者：大成建設株式会社東京支店

デザイナー：株式会社隈研吾建築都市設計事務所、株式会社日建設計、
株式会社日建ハウジングシステム

所在地：東京都港区赤坂九丁目

敷地面積：4,656.24 m²

総戸数：319戸

構造規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上44階地下1階

竣工年月：2018年2月

【審査員評価コメント】

都市のタワーマンションは他のビルに比べても目立つため、その印象が大事である。角が丸いフォルムと木目柄のデザインにより、柔らかい表情を周囲に与えることに成功している。3階ラウンジのダイナミックなルーバーも特徴的である。

以上